



子どものかわいらしい姿をカメラに収める

お稚児さんが内子に春を呼ぶ 高昌寺で「ねはん祭り」開催

「ねはん祭り」が3月15日、高昌寺で開かれました。恒例の「お稚児さん」には、4月から1年生になる子どもたち54人が参加。あいにくの雨模様で稚児行列は中止となりましたが、きらびやかな装束に身を包み、健やかな成長と学業成就の祈願を受けました。境内では和太鼓や大正琴の演奏、俳句大会などが行われ、訪れた人たちは暖かな春の訪れを感じながら楽しんでいました。



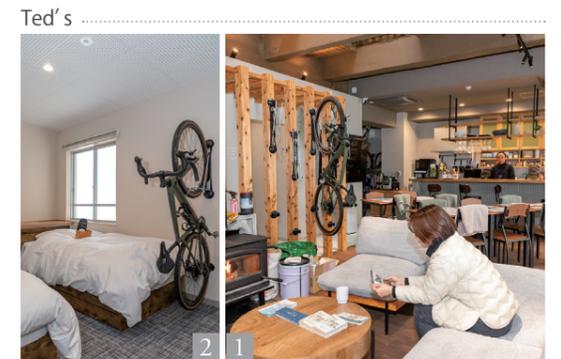
竹筒で空気を吹き込んで火力を調整。うまく炊けるかな

今の生活とどう違う？ 小学生が「食」をテーマに昔の暮らし体験

「町並みであそぼ」が3月23日、町家資料館で開かれました。参加した7人は、昔と今の炊事場の違いについて説明を受けた後、簡易かまどでの炊飯や、町内産食材を使ったみそ汁作りなどを体験。明治時代の食器に盛り付けて当時の食卓を再現しました。大川芽依子さん（内子小4年）は「学校で習って昔の暮らしに興味があった。作るのは大変だけど、みんなで食べると楽しい」と笑顔でした。

観光産業の活性化を目指して 町並み周辺に新たな滞在拠点がオープン

外国人観光客などの誘客に向け、観光庁の補助事業を活用した宿泊施設が町内で営業を始めました。合同会社 FUN BASE が運営するサイクリスト向けのゲストハウス「Ted's」は、昨年12月20日にオープンしました。計12の個室には自転車を持ち込むことができ、施設内には車両のメンテナンススペースも完備。併設されたカフェやバーは、宿泊者以外も利用できます。代表の寺園浩昭さんは「旅人同士や地元の人と楽しく交流できる宿にしたい。サイクリストに限らず、多くの人に旅の拠点として訪れてもらえれば」と語りました。本町商店街では「内子の宿」が新たに4棟加わり、内覧会が3月16日に開かれました。明治から昭和に建てられた蔵や母屋を改装した「紬」「緋」などの宿は、欄間や梁に当時の面影を残しながら、建具や壁紙の一部は町内の職人が手掛け、日本建築と現代的な設備を兼ね備えます。運営する(有)大西呉服店の大西啓介さんは「こだわりは内子らしいおもてなし。魅力ある宿を起点に、町の活性化につなげたい」と前を見据えました。



内子の宿



1_ ゆったりと過ごせる1階のカフェ・バー 2_ 各部屋に自転車スタンドを設置 3_ フロントとカフェ部分の外観 4,5_ 趣ある室内。木の温もりある空間が宿泊客を迎える



1_ 同日に開かれた卒園式。最後の卒園児10人が「お父さんお母さん、先生ありがとう」「小学校でも頑張ります」と感謝を伝えた 2_ アルバム展で家族と思い出を振り返る 3_ 園児らの手形を残した記念品の手作りアート

「みんなとの思い出は宝物」 内子幼稚園が59年間の歴史に幕

内子幼稚園の閉園式が3月21日に行われ、園児や保護者など62人が園舎に別れを告げました。同園は昭和41年の開園以来、3,142人の子どもたちの成長を支えてきました。式では大森彩園長が「内子幼稚園は皆さんの心の中にずっと残っていく。子どもたちが大きく羽ばたく姿をこれからも見守って」とあいさつ。その後、記念合奏や園歌の合唱、「ありがとう内子幼稚園」と題して思い出を振り返るスライドショーの上映などが行われました。また閉園記念品として、園歌を記した記念碑と、子どもたちの手形を残したアクリル板アートが設置されています。卒園児の保護者の武内照平さんは「私も3人の息子も通った愛着ある園。なくなるのは寂しいけれど、子どもたちは楽しかった日々を胸に頑張っている」と優しく語りました。併せて22～27日の間、同園が所蔵する写真のアルバム展が開かれました。卒園アルバムや行事写真など59年分の展示に、参加者は「懐かしい」とページをめくり、幼い頃の自分や家族に思いを馳せていました。

自然災害からの復興を願って 内子中の生徒が町へ義援金を寄託

内子中学校エコ委員の生徒が3月3日、内子分庁を訪れ、小野植正久町長へ義援金5,068円を手渡しました。同委員会では校内でアルミ缶回収を行い、集まったお金を災害復興などのために寄付しています。委員長の大野瑞季さんは「小さな取り組みだけれど、少しでも復興の力になれば」と話しました。義援金は日本赤十字社を通して、令和6年9月能登半島豪雨の被災地へ送られます。



義援金を手渡す大野さん（左）と前委員長の土居沙綾さん

安全で安心できる、憩いの場に―― 新・立石自治会館が完成

立石自治会館の老朽化に伴う建て替え工事が完了し、落成式が3月9日に開かれました。新しい自治会館はバリアフリーの木造平屋建て、延べ床面積は198.74㎡。式典では住民など約100人が餅まきや記念撮影をして完成を祝いました。向井清自治会長は「毎晩明かりがともるぐらい、新しい拠点もどんどん活用してほしい。元気で勢いのある地域づくりをしましょう」と喜びました。



立石獅子舞保存会が式典を盛り上げた